



# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!  
「ほしい暮らしは自分でつくる ぼくらのリノベーションまちづくり」

らいおん建築事務所 嶋田 洋平 著(日経BP社)



今号のおすすめ  
ライブラリー  
こちら!



本書は、空き家や空き店舗のリノベーションをきっかけに、エリアの再生を提案しています。このリノベーションは、単に建物の改修ではなく、それをきっかけとして人が集まり、ビジネスができる場としてよみがえらせるエリアの再生です。これを担うのは、行政や建築家、専門家ではなく、そこに住んでいる人たちであり、「ほしい暮らしは自分でつくる」という理念のもと、リノベーションまちづくりに取り組んでいる人たちです。実際に事例も紹介されており、リノベーションまちづくりがどのようなものなのかをイメージしやすくなっています。

まちづくりが成功するのは、そのまちに特別な魅力があったからだと思いますが、住んでいる人たちの思いや、発想の転換が何よりも大切な事があります。ほしい暮らしは自分でつくれる事に、多くの人が気づいて欲しい。

## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

富岡市 都市計画課 杉本 敦史



杉本 敦史さん(左から4番目)



講座の様子

「ワークショップ」・「ファシリテーター」という言葉を知っているだけの状態で私は、平成27年度の「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」を受講しました。

当時、私は「ぐんま“まちづくり”ビジョン富岡市アクションプログラム」策定のためのワークショップを運営・参加していたので、なにをどうすればいいのかもわからないまま、参加することになったのです。

この講座ではグループ内で、ファシリテーター・発表者・リーダー・サブリーダーの役割があり、どの役割も1度は経験することになります。このなかではやはり“水先案内人”であるファシリテーターをこなすのは、たいへんしんどいものがあります。グループの全員からとりあえずアイデアを出してもらい、それを強引にでもまとめなければならないからです。そのためにはグループ全員の協力と、ファシリテーター以外の役割も大切です。ですから花形であるファシリテーターでなくても、講座の各段階で天下先生から選ばれるMVPになることもできます。

私はこの講座修了後すぐに、ファシリテーターデビューをする機会がありました。来年開催される「花と緑のぐんまづくり2017」のために、大学生や地元住民も入れたワークショップでのことです。これまでの同じ方向を向いている講座におけるワークショップよりも、刺激の強い環境でのデビューとなりました。これからは庁内外問わずにワークショップのような形式で、理解を深めていく機会が増えていくように感じています。そんななかでの今回の受講は、とてもいい勉強と実践の機会になりました。いまはなんの知識も関心もないという方にも、ぜひ受講していただき、MVPの獲得を目指してほしいと思います。

## マーチィの掲示板

### まっちい〜ズが甘楽町第2回まち歩きビンゴ大会に潜入してきました

まっちい〜ファンの皆さん、こんにちは。我々まっちい〜ズは、甘楽町と帝京大学の学生が、道の駅「甘楽」を舞台に、地域の魅力を活かし、地域活性化を推進する企画として、第2回目の「まち歩きビンゴ大会」を開催するとの情報をキャッチし、まち歩きビンゴ大会に潜入して参りました。

まち歩きビンゴ大会は、受付で配布されるビンゴカードに記載されているクイズの答えを探しに、まち歩きを行い、ビンゴを目指します。第1回目は小学生限定でしたが、第2回目は年齢制限の撤廃があり、「まち歩きのプロフェッショナル“まっちい〜ズ”」も参加が可能となりました。なお、コースはビギナーとスタンダードの2種類あり、我々プロは、当然、スタンダードコースを楽しみました。甘楽町は歴史のある地であり、城下町には数多くの観光資源があり魅力的でした。もちろん、ビンゴ達成の豪華賞品はゲットしましたよ!我々プロも大満足の内容です。

また、道中の交通量の多い交差点などへの係員の配置や受付にて熱中症対策として、帝京大ウォーターの配布があり、参加者への配慮がうれしいところです。

第3回も注目していますので、皆さんも次回参加してみたいかがでしょうか。

